

令和 2 年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

河合振興事務所



目 次

天生の森と人のプロジェクト	1
「飛騨河合音楽の郷」構想の推進	2
止利仏師伝説の伝承	3

[拡充] 天生の森と人のプロジェクト

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
8,080	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">ふるさと創生基金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">7,159</td> </tr> <tr> <td>県補助金</td> <td style="text-align: right;">651</td> </tr> <tr> <td>国庫補助金</td> <td style="text-align: right;">270</td> </tr> </table>	ふるさと創生基金	7,159	県補助金	651	国庫補助金	270	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">委託料</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">4,699</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">2,160</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">1,221</td> </tr> </table>	委託料	4,699	負担金	2,160	その他	1,221
ふるさと創生基金	7,159													
県補助金	651													
国庫補助金	270													
委託料	4,699													
負担金	2,160													
その他	1,221													
(前年度予算 5,067)														

2 事業背景・目的

河合町のシンボルである「天生の森」は標高1,744mの^{もみねかやま}朮糠山をはじめ樹齢400年のブナ林や水芭蕉等の湿原など1,638haの県立自然公園です。

この森を次世代につなぐため、令和元年度は生態系に配慮した遊歩道等の環境デザイン計画を策定し、森の保存技術の継承と人員対策、陸地化が進む湿原の保全対策、トイレ等の改善など様々な課題を整理しました。

一方、令和元年7月には遭難事故が発生し、行方不明者の捜索対策、負傷者の搬送路のルートがないこと、不明瞭な案内看板等、新たな課題が浮き彫りになったところです。

このことから、令和2年度は、安全対策の強化とパトロール員の後継者対策を重点に、安心して自然景観を楽しめる環境整備を推進します。

3 事業概要

① 【新規】遊歩道の保全のための近自然工法の継承支援 (651千円)

近自然工法による遊歩道維持技術を継承するため、専門講師の指導のもとマニュアルを作成するとともに、「遊歩道修繕ワークショップ」を開催し、近自然工法技術を身につける後継者を育成します。

② 【新規】サインシステム計画の策定 (3,300千円)

公園内に設置している標識の問題点を洗い出し、森の景観に沿った見やすく現在地がわかりやすい標識の再整備を行うための計画を策定します。

③ 【新規】緊急避難道の補修 (800千円)

緊急避難道に木柵を設置するなど、傷病者等を車両等で安全に搬送できるよう、補修を行います。

④ 【拡充】天生の森の保全事業 (3,329千円)

保全パトロールや料金收受業務、獣害対策、散策会の実施を継続するほか、新たに、緊急時のパトロール員相互連絡のための無線機の配備を行います。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	河合振興事務所地域振興課	TEL	0577-65-2221	予算書	P.54

拡充 「飛騨河合音楽の郷」 構想の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
4,200	ふるさと創生基金 4,200	委託料 2,600 負担金 1,600
(前年度予算 1,500)		

2 事業背景・目的

河合町では、平成13年より金木博幸氏（現東京フィルハーモニー交響楽団主席チェリスト）を招聘し、演奏家を目指す若手を応援する「飛騨河合音楽コンクール」と、市民に広くクラシック音楽の魅力を知ってもらうための「真夏の夜のコンサート」を実施してきました。

令和2年度は、これまでのコンクールの更なる魅力アップを図り、若手演奏家の登竜門となるようなコンクールに発展させるとともに、コンサート20年目の節目にあたり記念事業を実施し、飛騨河合を音楽家が様々な音楽活動を行う「音楽の郷」となるよう推進します。

なお、当事業には、関係者の皆様のお声かけにより、全国の皆様から頂いたふるさと納税を活用し実施いたします。

3 事業概要

① 【新規】飛騨河合音楽コンクール受賞記念巡回リサイタルの開催（430千円）

前年度の音楽コンクールの最優秀者を招聘し、受賞記念リサイタルを開催します。

- 開催日：令和2年5月31日（日） 於：飛騨市文化交流センター 小ホール
- 開催日：令和2年6月1日（月） 於：河合小学校

② 【拡充】飛騨河合音楽コンクールの開催（1,170千円）

一流演奏家への登竜門となるようなコンクールを目指し、審査体制の強化を図るとともに、賞金を増額し若手演奏家の育成を支援します。

- 開催日：令和2年8月7日（金） 於：飛騨市文化交流センター 小ホール

③ 【拡充】真夏の夜のコンサート20周年記念の開催（2,600千円）

コンサート開催20周年を記念し、過去に飛騨河合音楽コンクールで入賞され国内外で幅広く活躍されている演奏家など、総勢22名によるコンサートを開催します。また、託児室を設け、子育て世代を含め広く市民に生演奏に触れる機会を提供します。

- 開催日：令和2年8月8日（土） 於：飛騨市文化交流センター ホワイエ

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	河合振興事務所地域振興課		Tel.0577-65-2221	予算書	P.55

新規 止利仏師伝説の伝承

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,242	一般財源	1,242
		委託料 1,000
		報償費 168
		旅費 74
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

河合町月ヶ瀬地区には、「都から寺院や仏像づくりのため河合町天生に入った青年が、そこに住む女性と結ばれ、二人の間に生まれた鳥のような首をした子が、17歳のころに奈良で“止利仏師”として法隆寺金堂の釈迦三尊像を制作した」という止利仏師伝説が、今も残っています。

これまでも伝説をもとに様々な取り組みが行われてきましたが、語り部の減少等により風化してしまう懸念があります。

そこで、止利仏師伝説と市内歴史的建造物や遺跡、現代の飛騨の匠までを含めた調査・研究を行い、広く市民に伝説の素晴らしさを伝えるとともに、河合町を中心とした子ども達への教育を行うことで、ふるさとの誇りを醸成します。

3 事業概要

① 飛騨の匠展検討委員会の創設と勉強会の開催 (1,152千円)

止利仏師伝説と飛騨の匠とをテーマとした「飛騨の匠展」の令和3年度開催に向け、有識者等による検討委員会を立ち上げます。また、伝説の語り部を増やすため、後継者育成を目的とした勉強会を開催します。

② 河合町小学校・保育園での伝説伝承事業 (90千円)

- 河合小学校3、4年生を対象としたふるさと学習において、伝説と飛騨の匠を学習する場の提供を行います。河合小学校と連携し講師の派遣等を行います。
- 河合保育園において、読み聞かせにより伝説を伝えるなど、幼少期から伝説に触れる場を提供します。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	河合振興事務所地域振興課	Tel.0577-65-2221	予算書	P.54	